

【取組概要】

令和4年3月、「砂防関係施設点検マニュアル(広島県砂防課)」を改訂(令和5年2月一部改訂)し、**施設点検におけるUAV活用を標準化**(目視又はUAVによる点検を標準)しており、令和4年度は、**砂防関係の各施設において、UAVを活用した点検を実施**した。

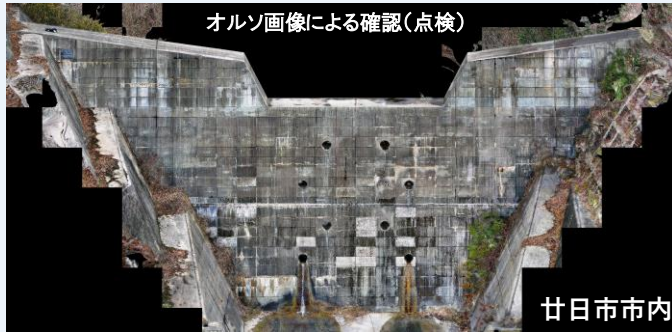
【期待される効果】

アクセス困難な場所や近接目視による点検が困難な施設においても安全かつ迅速に定点撮影や変状を把握ことができ、**点検者の安全性向上、点検の効率化、施設状況の明確化(上空写真)**が図られた。

【事例紹介】

砂防堰堤

オルソ画像による確認(点検)



廿日市市内

点検に用いた機体

Skydio 2+

サイズ:229×274mm

最大飛行時間:27分



ドローンによる撮影状況

点検者: (株)荒谷建設コンサルタント

溪流保全工



尾道市内

点検に用いた機体

DJI Pro Platinum

サイズ:335mm

最大飛行時間:30分



点検者: 広建コンサルタンツ(株)

急傾斜地崩壊防止施設

オルソ画像による施設全体の確認



福山市内

点検に用いた機体

DJI Mini 3 Pro

サイズ:362mm

最大飛行時間:34分



ドローンにより撮影した施設

点検者: (株)日野原富士コンサルタント

【課題】

- 砂防堰堤においては、草木の繁茂により、施設の撮影が困難であったり、墜落の恐れがある箇所が多い。
- 急傾斜地崩壊防止施設においては、人家が近接しており、安全面や住民の心証等を考慮し、限定的な活用に留まっている。
- 現地条件から、ドローンのみで施設点検を行うことは現状では困難または非効率であり、目視による点検を基本としながら、ドローンにより点検内容を補っている。